

令和 4 年度の大阪府環境保全基金の活用事業について  
(目的指定寄附金活用事業)

【名称】カーボンニュートラル技術開発・実証事業

【概要】

2050 年カーボンニュートラル実現に向けた取組みを加速する大阪・関西万博において、脱炭素社会の構築に資する最先端技術を披露することで、持続可能な次世代グリーンビジネスとして、世界への発信と社会への展開・拡大をめざす事業者に対し、試作開発や実証等に必要な経費の一部を補助する。

※参考

(公社) 2025 年日本国際博覧会協会 未来社会における環境エネルギー検討委員会  
中間取りまとめ 「EXPO 2025 グリーンビジョン」(2021 年 6 月 22 日公開)

下記の技術を核として、実証・実装プロジェクトを実施する。プロジェクトの実施にあたっては、大阪・関西万博の事業費、政府等の支援、企業等の自己負担等様々な方法での実施を検討する。

(1) エネルギーマネジメント

エネルギーマネジメントシステム技術 (VPP 技術を含む) / モビリティによるエネルギーマネジメント及び停電時の給電 / 電力貯蔵

(2) 水素エネルギー等

水素発電 / アンモニア発電 / 燃料電池 (純水素型燃料電池等) / 海外クリーン水素サプライチェーン / 水素等を燃料とする次世代モビリティ / 再生可能エネルギー電力からの水素製造

(3) 再生可能エネルギー

次世代型太陽電池発電 / 太陽熱発電 / 風力発電、洋上風力発電 / 廃棄物発電 / 帯水層蓄熱 / 海水冷熱利用 / 熱源水ネットワーク

(4) 3R (廃棄物、リサイクル)

食品残渣等からのバイオガス製造 / 生分解性容器のリサイクル及びバイオエタノール製造

(5) CO<sub>2</sub> 回収・利用

二酸化炭素直接空気回収 (DACCS ; Direct Air Carbon Capture and Storage) につながる技術 / CO<sub>2</sub> 吸収型コンクリート / メタネーション